

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 8月号 (NO64)

2015年8月10日(月)発行(毎月10日)

【農暦】暑さで無理はしないと決めて！

○ここ10日はとにかく暑かった。暑さには強いと自信があったのだが、熱中症で搬送・死亡のニュースが毎日のように流れる(注参照)。1人作業ではと、心配になる。途中までは草払い機で最小限度の所だけとは頑張ってきたが、少し間に元の状態になっている。徹底的にやるだけの力はない。“中途半は怪我の元”と除草作業を止めてしまった。農仲間“暑さで無理はしないと決めています。結果は繁茂力に敗北です。失敗の連続ですがこれも良いかと負け惜しみでなく思っています。”とメールした。同感ですと、返信メールが届いた。添付された菜園の写真を見たら良く管理されているのが見てとれた。無理をしない事に同感して頂いたのだと思いながらも落ち着きの悪いものが残った。

○夏日は25℃以上、真夏日30℃以上、猛暑日35℃以上を言うようであるが、猛暑日が続くと農作業は危険のように感じる。海水温が27℃の海域が東北の岩手沖の太平洋沿岸まで伸びている。特に平年と比べ関東から仙台位の所が高温になっている(気象庁データ)。北海道が本州の南の地域より同じか高温のこともたびたびあった。海水温は天候を変える。台風の猛烈な発達海水温が作用していると云う。海水温は漁業を変えるし、農産物の産地も変える。品種改良だけでなく既に相当変わって来ている様に思える。

○猛暑日が続く前までは“畑の景色”を維持していたが、アッと云う間に“草地の景色”を変えられてしまった。人の影も嫌いというネギも繁茂力の餌食になってしまった。暑さが落ち着いたら助けたいと思う。トマトだけは赤い実を

一杯付けている。収穫遅れもあり完熟したトマトは甘く美味しい。いっぱい食べている。夏バテ防止にとフレッシュジュースにし飲んでもいる。またお裾分けもしている。

○うまく言えないが、誤解を恐れず言えば、失敗の連続の今の農的生活は決して良いものとは言わない。変な表現になるが“嫌だが良い”と思っている。生涯現役のライフスタイルをと始めたのである。”嫌だが良い”を楽しめたらと思う。



＜完熟トマト＞日照りの中で美味に。収穫遅れの不揃い。手前は好物の特大のキュウリ。5日撮影

○8日は立秋である。繁茂力に負けた畑を見ると秋冬野菜の播種など考える余裕はないが、反省しながら、落ちて行く農作業能力にあった栽培を考えたいと思っている。7月上旬の播種した黒豆、小豆、金時は除草管理が出来ていたが、猛暑で休んでいる内に草が伸びてきている。まずは、ここから除草を始めたい。

***注**；消防庁によると、8月3日～9日の1週間の熱中症による救急搬送者数は全国で1万1219人でした。今年7月1日以降の救急搬送者数は、4万人ほどになりました。昨年のおよそ2万5000人の1.6倍で、2008年以降では過去最多。

【楽農】草の繁茂力のなすがままに！

<畑A>；ブルーベリー、トマト、茄子、キュウリの収穫、除草（猛暑前）。

<ハウス>；トマトの収穫。

<畑B>；黒豆、小豆（赤、黒、白）、金時の除草（猛暑前）

***暑さで無理はしないと決めて草の繁茂力のなすがままに。**



<山の斜面いっぱいのゆり>。ハンターマウンテンのゆりパークを散策。山野草の会で。26日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○その他；

ゆりパーク散策・山野草の会（26日）、予科連平和祈念館・雪印の見学・市民研修会（30日）、魅力発信隊例会（30日）、ビデオ鑑賞・共生の会（6日）、ピッコロファームの会（7-8日）参加など。

***猛暑の中、課題が多いと実感しながらイベント交流に参加した。**

【つぶやき=Tweet】Keywordは、兵站、無責任、科学！

○元会社の現役の仲間の来訪があった。持って来てくれたCHIVASで深夜まで談笑した。しかるべきポジションにある彼から懐かしい名前など現在の状況なども聞いた。トヨタの看板方式、日産のゴーン社長の登場、GEのウェルチなどと経営も企業文化も大きく変わって来た。経営手法もだが、田舎暮らしを始めてからは、地域興しも、金太郎飴状態（どこを切っても同じ）だなど横並び文化に食傷気味になっていた。感じていた。経営手法に人間性まで侵されるのではないかと心配であったが、それが現実化し一般化して来ている様に感じる。嘗て企業のリーダーは人格者であった。優秀な人材は多い、世のため人のための企業文化の復活を信じたい。まずは人ありきである。控えめな彼の話しを聴きながらいろいろ考えてしまった。グローバル経済の進展の中あつてはワールドスタンダードの押しつけ（経済大国の支配拡大）？、国際政治も同様に見える。ワールドスタンダードに

抗して個性、個別、ローカルの尊重に繋がるあり方の模索こそが、今問われていると、改めて思った次第である。

OKさんから「たより」ありがとうございます。重い話ということで、当方も重い？話を少々。小暮さんをご承知のことになりますが……。Keywordは、兵站、無責任、科学とメールを頂いた。会社の虚偽会計、新

オリンピック会場建設費用、3Dプリンターのことなどが書かれていた。兵站、無責任についての一部分を引用紹介する。“後方支援は安全と政府。それは「兵站」というもので、前線と同じく敵が重点的攻撃してくるので危険が増すと野党。〈略〉映画「遠い橋」を〈略〉期せずしてTVで放映されたので見た。ノルマンディ作戦後のヨーロッパ戦線で反攻に出た連合軍がドイツに侵攻すべくオランダの奥深く、前線兵士を落下傘部隊で送った。この前線への



〈数キロ先射程の戦車〉戦車部隊の後方配備、1台20億円にウヘーの声。自衛隊土浦駐屯地で。30日撮影

兵站の物語であるが、余りにも長く、大部隊の物量兵站で、時間を食い、ドイツの餌食になって失敗に終わった。8000名の戦死者を出した隊長が「無茶だと反対した」と上司に食ってかかると、上司は「長すぎた。遠かった。モントゴメリーの命令だ」と責任を回避する。日本にも同じことがあった。ノモンハンとインパールである。ノモンハンは敵の威力を知ってか知らぬか、上官は前線兵士に手榴弾で戦車に肉弾を強いて、多くの戦死者を出して敗退した。インパールもインドに攻めた前線部隊に兵站が機能せず、最悪の戦史に数えられている。どちらも上官は責任を取らず、責任も追及されなかった。恐ろしいことである。国会の話を聞いて、思い出し、かつ思った。”とあった。「戦後70年談話」出されようとしているが、詭弁を弄して欲しくない。

○戦後70年の節目の時である。社会が大きく変わる潮目にある様に感じる。戦争体験、原爆関連の番組が多い。考える機会にしたい。シティー・オープンで錦織圭・優勝のニュースが流れた。若いトップアスリートの活躍も頼もしいが、重い話しも大事にしたい。

【後記】古い友人と家で、居酒屋で飲む機会が続いた。”友遠方より来る楽しからずや“である。美酒が頂けた。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.com

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>